

商品名 メサラジン注腸1g「ケンエー」 医薬品基本情報

薬効	2399 他に分類されない消化器官用薬	一般名	メサラジン注腸剤
英名	Mesalazine KENEI	剤型	注腸剤
薬価	426.50	規格	1g 1個
メーカー	健栄製薬	毒劇区分	

メサラジン注腸1g「ケンエー」の効能・効果

潰瘍性大腸炎＜重症を除く＞

メサラジン注腸1g「ケンエー」の使用制限等

1. 重篤な腎障害、重篤な肝障害、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、類薬で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 腎機能低下、肝機能低下	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
3. サラゾスルファピリジンに対する過敏症の既往、サラゾスルファピリジンでアレルギー症状の既往、腎機能低下＜重篤な腎障害を除く＞、肝機能低下＜重篤な肝障害を除く＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

メサラジン注腸1g「ケンエー」の副作用等

1. 異常	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 間質性肺疾患、好酸球性肺炎、肺炎、肺臓炎、間質性肺炎、発熱、咳、呼吸困難、胸部X線異常、心筋炎、心膜炎、胸膜炎、胸水、胸痛、心電図異常、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎機能低下、急性腎障害、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症、肝炎、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、黄疸、脾炎、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、薬剤性過敏症症候群、発疹、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、ヒトヘルペスウイルス6再活性化、HHV-6再活性化、ウイルス再活性化	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 皮膚そう痒感、食欲不振、口内炎、便の変色、便の黒色変色、発熱、浮腫、全身倦怠感、めまい、末梢神経障害、肛門部位疼痛、肛門部位のかゆみ、不快感、便意切迫、胸部痛、頸部痛、CRP上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 発疹、丘疹、蕁麻疹、紅斑、下痢、腹痛、嘔気、嘔吐、血便、下血、アミラーゼ上昇、腹部膨満感、便秘、粘液便、尿着色、頭痛、CK上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 脱毛、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、Al-P上昇、ビリルビン上昇、肝機能異常、クレアチニン上昇、尿中NAG上昇、尿中ミクログロブリン上昇、尿蛋白、腎機能異常、白血球減少、貧血、好酸球増多、筋肉痛、関節痛、ループス様症候群	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 過敏症状、発熱、腹痛、下痢、好酸球増多	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 間質性腎炎	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 肝炎、肝機能障害、黄疸	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 膵炎	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

メサラジン注腸1g「ケンエー」の相互作用

1. 薬剤名等：利尿剤	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	動物実験（ラット）で、メサラジンの大量投与（300mg/kg）により、尿量及び尿中ナトリウム、カリウム及び塩素イオンの排泄増加	指示	注意
2. 薬剤名等：ステロイド剤	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	動物実験（ラット）で、メサラジンの大量投与（300mg/kg）により、尿量及び尿中ナトリウム、カリウム及び塩素イオンの排泄増加	指示	注意
3. 薬剤名等：アザチオプリン				

発現事象	骨髄抑制	投与条件	-
理由・原因	本剤は、チオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これらの薬剤の代謝を阻害	指示	注意

4. 薬剤名等：メルカプトプリン

発現事象	骨髄抑制	投与条件	-
理由・原因	本剤は、チオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これらの薬剤の代謝を阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』